

市交際費の支出状況



令和3年8月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	38	78,000
	累計	42	106,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	0	0
	累計	4	22,480
賛助	今月分	0	0
	累計	0	0
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	1,120
	累計	32	68,240
会費	今月分	0	0
	累計	2	14,000
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合計	今月分	39	79,120
	累計	80	210,720

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

連載

「情報化の便利さに潜む問題点」
インターネットの検索を行うと、閲覧履歴をもとに、一番見たいであろうページをAIが予測し表示してくれます。ただし、表示された情報は、かたよった傾向にあるかもしれません。この時点で、自分の関心とは異なる情報には触れにくくなり、ほかの意見が存在することにさえ気付かなくなる危険性があります。

また、SNS上に自らの意見を発信した際には、自身と似た考え・意見がエコー（こだま）のように返ってくるため、同じような意見ばかりが集約され、意見の増幅・強化が起きます。このことを「エコーチェンバー現象」と言い、それが「社会的

tomoniki

に正しくないもの」だとしても、多くの人の同調意見の中では「社会的にも正しいはずだ」という錯覚を持つことがあるかもしれません。

自分の意見に賛成してくれる人が多くいると安心するものです。一方で、私たちの周りには、自分と違った考えや価値観を持っている人がいます。

インターネット検索は、自分とは異なる意見が自然と除外されていくシステムとなっており、情報化の便利さの裏には、差別につながる問題点があることも知っておく必要があります。

自分と違う考えだからと、否定したり排除したりと差別するのではなく、自分の意見を見つめ直し、正しく判断する力を身に付けましょう。

社会教育指導員 木村博重

Message for citizen



市長コラム



緊急事態宣言が9月末に終了予定です。でも油断は禁物。新型コロナウイルス感染症の収束は見通せずとも努力が肝心です。

佐賀県内の新規PCR検査陽性反応者は9月19日に4人。5人以下は55日ぶりで、状況改善努力の成果といえます。

8月には多久市内でも福祉施設クラスターが発生し感染が増加。県内各地でも高校の部活動等を通じた感染拡大、さらに家庭や職場で感染が見られ、懸念された状況からの改善です。

対策面でのワクチン接種は順調に進んでおり、市内の高齢者接種率は90%以上に達し、市民全体でも60%台であり、9月末には7割になる見通しです。

この状況を踏まえ集団接種会場は9月までとし、今後は市立病院と市内医療機関での接種となります。希望者に完全予約制で実施しています。不透明は市の健康増進課へお尋ね下さい。

忘れずに ここでゆるめず 感染予防!

市長 横尾 俊彦

9月21日記

ニュースでは変異株対策や3回接種などが話題ですが、対策としてのワクチン接種は重要です。マスク着用や消毒など感染予防をしないと、ワクチン接種すれば全く感染しないとは必ずしもなりません。仮に感染しても重症化しない効果があります。福祉施設で重症化に至らなかったのもこの効果です。

つまり、ご本人を闘病の苦痛から少しでも解放できます。高齢者等の重症化が減れば、医療現場への負担を幾ばくでも軽減できます。それにより、医療崩壊を防ぐことができ、通常の医療ニーズ対応が可能な状態を維持できます。そうやって大切な人を守るようになるのです。

これらのこともよくご理解いただき、接種が可能で、希望される方は接種をお願いします。

秋のお彼岸には毎年と変わらず彼岸花が迎えてくれました。実りの秋となりますように。